

【全日制】令和4年度赤穂高等学校学校教育目標および評価項目

学 校 教 育 目 標		重 点 目 標 （ 中・長期的目標 ）							
憲法及び教育基本法に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学課の特徴を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。							
		今 年 度 目 標		成 果 と 課 題 (中間)		A	B	C	改 善 策・向 上 策
		(1)ICTの活用により、全教職員が生徒の主体的な学習意欲を喚起する授業づくりを心がけるとともに、話を聴き、思いを伝え、見守り、励ます温かみのある指導を通して1人1人の個性を大切にした教育の実施を目指す。到達目標や資格取得など具体的な学習目標を意識づけ、個々の進路実現に向けた学習活動を支援する。 (2)生徒が自己理解・他者理解を深められるよう、学校の教育活動全体を通じて人間性の育成を目指す。互いの人権を尊重し合う態度を育て、心身ともに健康でいじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。 (3)地域と連携した探究的な学びをより一層推進し、社会とのつながりを意識した地域理解や地域貢献の気質を育てる。地域に愛され頼られる学校と人材の育成を目指し、生徒・保護者・職員が力を合わせ、これからの子供たちのための赤穂総合学科新校(仮称)に向けた新たな学校づくりを進める。		ICT環境が整ってくる中で、授業でもこれを活用する場面が増えてきている。授業やオンライン学習の指導に向けた職員全体のスキルアップが求められる。 生徒の中には悩みを抱える者もいて、ホームルーム担任を中心に常に生徒の動向に注意を払っている。学年ごとの集会や教育講話を通して有用な情報提供に努めている。 赤穂総合学科新校準備委員会が立ち上がり、今後に向けての検討が進んでいる。 保護者の皆様に生徒の様子を見ていただくため、授業参観週間を実施した。			○		生徒が学習目標をより明確にもって授業に臨むための方策を考えていく必要がある。よりよい授業づくりのための教員の研修を通し、スキルアップをはかる。 引き続き、生徒の状況を正確にお把握するため、機会をとらえた面談や集会を丁寧に行っていく。 徐々にコロナ前の状態に戻りつつあり、積極的に取り組むことで生徒自身の学びが大きく広がった。今後は生徒の側が地域のためにできることについて具体的に考えるなどの機会をつくり、更に地域との良好な関係作りに努めていく。
領域	対 象	評 価 項 目		評 価 の 観 点					改 善 策・向 上 策
教育活動	教 育 課 程	今年度入学生より実施されている新教育課程について問題点等を検討する。もし、問題点が提議されればそれについて議し、修正を行う。		(1)本校生徒の希望する多様な進路実現が可能な教育課程であるかを検討できたか。 (2)新教育課程に修正が必要か十分検討できたか。		1学期に1年生に実施されている新教育課程について、各教科で問題点を検討した。現在、特に問題はないので現行のまま行っている。		○	今年度実施した新教育課程に関しては大きな問題はなかったため、来年度も継続したい。 教育課程は生徒の進路にかかわる根幹であるので、常に改善を求めていきたい。
	進 路 指 導	(1)主体的な進路選択と、個に応じた進路実現を支援する。 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化を図る。		(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。		(1)意欲を高めるため、大学等進路見学会、大学等模擬講義、進路セミナー、合格者ご集り会を行ない、一定の成果を上げることができた。 (2)赤穂高校進路通信「羅針盤」やてん進路の統計等を出して、進路情報の共有を心がけた。		○	新型コロナウイルスの対策を取りながら、進路行事を計画し、実行していく。支援内容の見直しや、支援体制づくりを行う。情報の共有を密にしていく。
	キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。		キャリア教育の推進ができたか。		新型コロナウイルスの影響のもと、対策をとりながら進路行事を予定通り行うことができた。TUNAGUなどの企業情報や、インターンシップ、企業説明会、進路セミナーを通して、キャリアについての意識を高めた。		○	1学年次より、計画的にキャリア教育の視点で行事を配置する。TUNAGUなどの企業情報誌や、インターンシップ、企業説明会、進路セミナーを通して、情報の提示し、経験をつける機会を設ける。
	学 習 指 導	生徒の学習活動の充実と学力向上を目指す。		(1)カリキュラムマネジメントの具体的な検討を進めることができたか。 (2)「学習活動の記録」「総合的な探究の時間」について教科・学年・係等の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を検討できたか。 (3)補習・特編授業・学びの基礎診断等について教科・学年・係間の連携、調整ができたか。 (4)Classi等によりポートフォリオを作成させ、生徒の学習意欲維持に働きかけられたか。 (5)学びの継続を支援できたか。		各教室にエアコンが入ったため、夏期補習は昨年同様8月の第一週に実施した。学びの基礎診断は年2回実施し分析会も行うことができた。2回めの分析会は11月実施予定。結果は面談等に活かした。「探究」は各学年、年間計画に従い実施しているが、3年間を通しての流れを係会で検討中。観点別評価が1年生から始まる。一部基準を設定したが、教科・科目による特性があるので一律には行えない。コロナの状況によりオンライン授業も取り入れ学びを継続させている。		○	1年次の「探究」は昨年度は業者を入れ、今年度は自分たち独自でおこなった。来年度は上伊那広域連合、ウミガメプロジェクトと連携して地域探究をおこなう。学力向上の観点から家庭学習が欠かせないが、教科書・教材等の自宅への持ち帰りが課題である。オンライン授業のためだけでなく、日頃からの習慣にして欲しい。
	人 権 平 和 育	よりよい社会の実現に主体的に協調して取り組む生徒の育成を目指し、学校生活のあらゆる場面において人権平和学習を推進する。		(1)全校の取り組みとして憲法学習・平和学習・人権学習を実施できたか。 (2)各学年の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を共有できたか。 (3)道徳教育の全体計画を作成実践できたか。		憲法学習は各政党の改正案を比較して自分の考えをまとめる。人権学習は映画鑑賞を行い、それについて自分の考えをまとめてクラス内で意見交流をすることでさらに自分の考えや行動を見直し取り組みを行った。欠席者の対応が今後の課題である。		○	平和と憲法の問題をからめた視点での学習を計画していきたい。 人権学習では学年の状況をふまえて生徒が主体的に取り組める学習形態を計画していきたい。
	図 書	(1)本に興味を持ち、自主的に読書ができる環境を整える。 (2)教科指導や探究的な学び、進路指導などに役立つ資料・情報提供の支援を行う。		(1)新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2)生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。		(1)掲示やクラスルームで新着図書や上伊那高校生が選ぶ読書大賞のお知らせ等を発信できた。 (2)利用者のリクエストや探究・授業等に必要な資料やアドバイスを提供することができた。		○	利用者の資料欲求をより多く聞いて貸出の増加に努めたい。図書館利用授業やリファレンスの実績をアピールして図書館を利用した授業の事例を増やしていきたい。
	視 聴 覚	(1)芸術(演劇)鑑賞を通じて、芸術に触れる姿勢や態度を育成する。 (2)ICT活用能力と情報モラル教育を推進する。		(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられるか。 (2)探求や情報、特別活動を通じて、ICT教育の推進と情報モラル教育を定着することができたか。		芸術鑑賞を行い、鑑賞時のマナーを身につける機会ももてた。 探究や情報、特別活動を通じて、ICT教育の推進を行っている。		○	来年度も、感染対策を徹底したうえで芸術鑑賞を行いたい。 ICT教育の推進とともに、SNSの使い方などの情報モラルの推進を図ってきたい。
	生 徒 指 導	(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)公共施設等でのマナー・モラルの推進を図る。 (3)生徒が安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。		(1)挨拶や身だしなみに自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)乗車・自転車マナーなど登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に早期に対応し、毅然とした態度で対応ができたか。		定期的に身だしなみ点検を行い指導した。交通安全講和や立ち番指導で指導した。生徒指導の係会や学年会を通じ、生徒の情報を共有し、未然に問題に発展しないよう留意している。		○	自転車の通学途中における事故が多いのが課題。警察など外部機関と協力し改善していきたい。
	教 育 相 談	(1)様々な課題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起こらない体制作りを目指す。 (3)学年や関係の係との連携を密にこり、職員間での情報の共有を図る。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。		(1)課題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 (2)職員全体で生徒の言動を把握し、情報の収集ができたか。 (3)定例の会議等で生徒の状況を把握し、担任・学年会・関係の係との連携がとれたか。 (4)スクールカウンセラーや医療機関など、外部との連携がとれたか。また、校内で協力し、支援ができたか。		教科担当者会を開き、情報を共有し、支援や対応策について検討・確認を行った。外部機関(SSW)と連携をとった支援を行っている。 必要に応じて、係会を開き、情報交換、支援の在り方について検討を行っている。		○	学年会・教科担当者会・係会を通し、情報の交換・共有を図り、必要に応じて、SCやSSWなど、外部機関へもつなげられる支援体制を継続したい。
	生 徒 会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり (3)新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、当面の間コロナと共生しなければならない状況を踏まえ、可能な試みを模索しながら生徒会活動の存続・継承を行う。		(1)生徒会活動を通じて、生徒に成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率と継続性を保つことができたか、また、各クラブがコロナの予防措置をとりつつ活動を行えたか。 (3)これまでの生徒会活動を精査し、新しい活動について次世代に継承できたか。		生徒会活動を通して、生徒が社会貢献や自分自身の目標を定め実行できた。 コロナの予防措置を理解しているクラブが多数であるが、若干気のゆるみがみられ、昼食を介してコロナに感染する生徒が若干名いた。 生徒会活動は次世代に継承しつつあり、新執行委員会も立ち上げることができた。		○	コロナ禍であったが生徒会活動も順調に進んでおり、今後の活躍も期待できる。ただ、本年度は鈴蘭祭のテーマを決めるのが遅れ、生徒総会で議決されていないので、4月の生徒総会において議決しなければならない。
	美 化	(1)校舎内外の美化 (2)ゴミの分別を徹底する。		日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。		今年度も校外の清掃には取り組めなかったが、日ごろの清掃や文化祭等において分別の呼びかけを行った。引き続き取り組んでいく。		○	分別を徹底できるよう来年度も呼びかけをおこなってきたい。また来年度は可能であれば校外の清掃活動も検討したい。
	保 健	(1)身体と健康に関心を持ち、自分で健康管理をし、正しい健康行動が取れる事をを目指す。 (2)公衆衛生を心掛け、ウイルスなどの感染症蔓延防止策を取ることの重要性を共有する。		(1)正しい健康情報の提供ができたか。 (2)健康観察や予防行動が適切に行われ、感染症対策が行われたか。		定期的に保健だよりを発行して健康情報の提供を行った。新型コロナウイルスに加え冬の感染症(インフルエンザ・ウイルス性胃腸炎)の流行に備えて感染症対策への取組を引き続き行う。		○	新型コロナウイルスの感染症の扱いが変わることが考えられるので、指針に沿って対応していく。流行や新たな感染症にすぐに対応できるように備えておく。
学校運営	教 務 広 情	庶 務	(1)状況に応じて行事や授業計画を適切に見直し、新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営を図る。 (2)生徒の学校教育活動に制約がある中、学習を支援するため環境整備を行う。また、ICT委員会との連携で情報機器の活用を進める。 (3)ICT委員会と連携し、オンラインでの学習を進めるための職員研修を企画する。 (4)学校の公開や体験入学などの行事を通じて、地元の中学校や地域との連携を図る。	(1)行事などの変更にあたり、各分掌との連携をとり、生徒の実態に合わせて無理のない見直しができたか。 (2)ICT等を活用した、生徒がオンラインで学習するための支援ができたか。 (3)生徒が家庭でオンラインで学習する場合に備えた研修などができたか。 (4)地域や中学校の要望に対して配慮がなされたか。	学校行事については、概ね年間行事計画通りに実施されたが、1学期のクラスマッチについては新型コロナウイルス感染症による学校閉鎖のクラスがあったため延期となった。生徒会と調整し、文化祭に組み込む形ででのクラスマッチが実施された。授業時間は十分に確保されている。 オンライン授業に対応するための職員研修会を2回実施した。 本校の普通科・商業科の体験入学への参加を希望する中学生を3日間に対わって受け入れ、参加した生徒にとって満足(り)のびものであった。	○	職員が組織的に日常的な役割を担い、各行事の運営を成すことができるように、さらに理解を深め、連携して取り組める体制づくりを行う。懸案となっている強歩大会については無理のない日程を設定し、行事の運営にあたっては一部の部署の負担とならないような配慮が必要である。 授業のみならず、学校教育活動のさまざまな場面でICT機器の活用を進めていく。 クラブ活動の体験を希望する生徒に対しては、体験入学の中でその機会を設ける。		
			(1)学校行事や生徒の様子をパンフレットやHPを通じて積極的に発信し、保護者、地域、中学生などへの理解推進に努める。 (2)校内ネットワーク管理者と連携して、情報の漏洩や不正使用を防止する観点から、適切な情報資産の整備・管理を行う。	(1)時機をとらえた情報発信ができたか。また、発信した情報等において表現が適切であったか。 (2)学校の業務に必要なデータの整備・保存が行われているか。不要な過年度のデータが保存されていないか。	学校要覧、パンフレットを作成し、情報の発信が必要な場面で適宜活用した。 時機をとらえてHPからも情報の発信を行っている。	○	校内の情報が、保護者、地域、中学生に対して適切にかつ効果的に発信されるよう、HP、パンフレット等に工夫を加えていく。また、すべての職員が情報の提供や収集で協同し、偏りのない情報発信を心がける。		
			(1)防災を現実的なものと想定し、生徒および職員の具体的な行動を設定し、日々の防災意識を高める。 (2)校内環境の危険箇所などを把握し、安全な学校づくりに努める。	(1)各種有事(自然災害、火災、他)における対応について、生徒・職員が行う対処方法等の知識と訓練などを通して浸透できたか。 (2)危険箇所等に関する実態を把握し、対応および改善ができたか。	防災訓練を企画し、災害への注意を喚起し、職員・生徒が臨機応変の対応ができる意識の向上を図っている。 危険箇所等の特定を進めて、緊急性のある箇所から改善に取り組んでいる。	○	防災に対する意識を高め、想定外の出来事に対しても臨機応変の対応ができるようにすることも必要である。		
	予 算 施 設	(1)教育活動の充実のため、学校予算の運営を検討協議し、適切な予算の執行を行う。 (2)校内施設や設備の管理・運営について協議推進し、安全かつ教育効果を向上する設備への改善等を検討する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。	(1)予算に関する適正な執行ができた。 (2)校内設備の有効利用について話し合いを持てた。教室備品の確認と配置ができた。	○	備品に関して、使用していない物の有効活用や不足しているものについて意見集約等を経て、より良い配置にしていければよい。			
	学 校 運 営 学 校 運 営 計 画	学校運営上の課題を明確化し、将来に向けての学校のあるべき姿を検討する。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。	保護者の皆さんに生徒の活動を観ていただくため、授業参観週間を設けた。	○	コロナも徐々に落ち着き始めているため、頻者の皆さんをはじめとした外部の人に足を運んでいただけるようにしていく。			
学校関係者	P T A	(1)PTA活動の円滑な運営を行う。 (2)多くの保護者に参加・協力していただけるよう情報発信をする。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。	①新型コロナの感染警戒状況から、PTA総会、PTA作業、陶芸教室、研修旅行を中止するなど、残念ながら参集形式の活動はできなかった。クラスマッチ時に生徒の熱中症対策のために飲料を提供した。②PTA総会は学校HPを使って書面決議とした。PTA通信を発行した(年2回を予定)。	○	来年度も今年度同様の行事を考えているが、新型コロナ感染警戒状況を見て、実施の可否を判断することになるであろう。			
		学校と同窓会との橋渡しをおこなう。特に、赤穂総合学科新校(仮称)に向けた新たな学校づくりを進めるためにも、同窓会との連携を図る。	学校の意向、同窓会の意向をそれぞれに伝え、連携を取る調整役を果たせたか。	同窓会の役員会において、新校準備委員会の話し合いの状況をその都度報告している。また、同窓会報でも記事にまとめ一般会員にも周知するように図っている。	○	同窓会役員会と学校の職員会の橋渡しは一定程度できているが、同窓会一般会員へは考える集いと会報だけでは十分伝わり切れていないことを感じる。			
	学 校 評 議 員 会	学校評議員会を効果的に運営する。	学校の諸課題を学校評議員と共有し、学校外部からの客観的な意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	出来るだけ生徒の活動が見えるように、年3回の学校評議員会の開催を計画している。	○	学校評議員会に合わせ、生徒の活動をより分かってもらえる工夫をしていく。			
	安 全 衛 生	教職員の健康管理と職場環境改善に努める。	健康診断・人間ドック、ストレスチェックの全員受診ができたか。	人間ドックの受診状況を年把握し、未受診者には受診勧奨を行う。	○	人間ドックの受診については、早期の受診を呼びかける。			
	I C T	教育における情報機器の積極的な活用を図る。	クラス運営および教科指導における情報機器の利用が進んだか。	GIGAスクールサポーターと連携しながら、Google for Education の研修会を開催している。	○	職員の研修の機会をより増やしていく。			
将 来 像 検 討	再編計画に基づき学校の将来像を考える。	地域の実情に基づいて将来ビジョンを検討できたか。	保護者、生徒、中学生に対してアンケートを実施し、赤穂新校準備委員会と連携しながら新校についての検討を進めている。	○	具体的な学校像の検討が進んできたため、生徒にとってより良い学校となるよう検討、研究を進める。				